

上智大学生命科学研究所公開セミナー（1993年度第5回）

上智大学生命科学研究所では、藤田一郎氏（新技術事業団さきがけ21）をお招きして、公開セミナーを下記要項で行うことになりましたので、御案内申し上げます。

記

日時：1993年9月16日（木）午後 3時30分～

場所：L-812室（中央図書館 8階）

講師：藤田一郎氏（新技術事業団さきがけ21
及び理化学研究所フロンティア）

演題：物を見る脳のしくみー昨日会った君と今の君ー

私たちは、われわれを囲む無数の物体を識別するとともに、同一の物体は見る角度や照明条件が異なっても、同じものであると認めることができる。いったい、それはどのような脳のしくみによって可能になっているのだろうか。物体像は脳の中でどのように表現されているのだろうか。

われわれは最近、サル大脳において物体視に関わる経路の最終段である下側頭葉皮質が、平均直径0.4ミリのコラム状構造を持つことを示した（Nature 360:343-346, 1992）。個々のコラムは、似た、しかし多くの場合、わずかに異なる図形特徴に応答する細胞を含む。本セミナーでは、この構造が、物体認知において持つ意味、とくに上記の問題にどう貢献するかを大胆に議論してみたいと思う。

御来聴を歓迎いたします。

生命科学研究所

(Tel. 3238-3488)